



三島 伸雄 教授が 2022 年アジア都市景観賞を受賞

【概要】

都市工学部門の三島 伸雄 教授が、令和 4 (2022) 年 12 月 11 日 (日)、NPO 法人肥前浜宿水とまちなみの会、鹿島市との共同で、2022 年アジア都市景観賞を受賞しました。アジア都市景観賞は、国連ハビタット福岡本部が主催する景観に関する国際賞で、アジアの景観を誇らしいものに導いていくためのものです。今回の受賞は、三島教授が産官学で長年取り組まれてきた鹿島市肥前浜宿の町並み整備が高く評価され、三者での共同受賞となりました。

【本文】

令和 4 (2022) 年 12 月 11 日、都市工学部門の三島伸雄教授が、NPO 法人肥前浜宿水とまちなみの会 (以下、水まち会)、鹿島市との共同で、2022 年アジア都市景観賞を受賞しました。

アジア都市景観賞は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、国連ハビタット福岡本部、アジア人間居住環境協会、アジア景観デザイン学会、そして福岡アジア都市研究所の 4 団体によって、2010 年に創設された景観に関する国際賞です。アジアの優れた景観をアピールし、また、発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し、表彰するもので、今年で 13 回目を迎えます。

今回の受賞は、三島教授が建築・都市デザインの専門家として地域に参画して、産官学で長年取り組んできた鹿島市肥前浜宿の町並み整備が高く評価され、三者での共同受賞となったものです。三島教授が鹿島市肥前浜宿に関わり始めたのは、1999 年のことです。肥前浜宿が重要伝統的建造物群保存地区に向けた調査が行われた頃に、現在の水まち会の方々からの直接の強い要望を受け、そのまちづくりに参加するようになりました。それ以来、地域住民、そして鹿島市とともに、花と酒まつりなどのイベントの企画・運営等による意識啓発、伝統的建造物の修理、電柱撤去・浜川の河川改修・浜駅整備等に向けた調査・設計体制づくりや具体的な整備事業の実施、環アジア国際セミナーによる海外大学も巻き込んだ学生教育・研究等に取り組んできました。今では、その歴史的景観の整備も進み、地域住民が一体となって観光客を迎え入れる観光地として、全国でも誇れる町になってきました。

本受賞は、三島教授の長年にわたる社会連携・地域貢献の取り組みが国際的にも高く評価されたものであり、持続可能な地域社会の実現に寄与するための地域みらい創生事業を推進し、鹿島プロジェクト (代表：三島 伸雄 教授) 等に取り組んでいる佐賀大学としてもうれしい受賞となりました。



アジア都市景観賞の賞状



左から、三島伸雄教授、松尾勝利市長、
山田一郎水とまちなみの会会長、中村雄一郎同事務局長



鹿島市歴史的景観審議会メンバーとの記念写真

前列賞状を持つのは小野原 利幸 会長（元鹿島市教育長）

会長左：三島 伸雄 教授，会長右：NPO 法人水とまちなみの会元会長・熊本 義泰 氏